

施策評価シート

【施策の概要】

登録者(課長)名【1】		高齢者支援課長 横山 桂樹	
主管課(関係課)【2】		高齢者支援課(生活福祉課)	
施策名【3】		分野【4】	
笑2-2 高齢者の生きがいがづくりの充実		いつまでも健康で元気に暮らすために	
まちはづくりの方向性【5】		笑顔で暮らすまちはづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】
	高齢者が、精神的にも肉体的にも健康で元気に人生をおくるためには、生きがいをもつことも大切です。本市では、高齢者の生きがいがづくりを支援する取組として、健康づくりや介護予防及び就労、他世代や地域との交流などに対する支援を行ってきました。しかし、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯が増加し、高齢者と地域とのかかわりや交流は希薄化しつつあります。今後は、高齢者が生きがいをもって元気に暮らし、希望する活動や自己実現に取り組むことができるよう、学習や発表、他世代との交流、スポーツ・レクリエーション、社会貢献などの活動機会の創出、就労や起業のための支援など、高齢者の社会参加と生きがいがづくりへの取組やわかりやすい情報提供を進める必要があります。		◆社会参加と生きがいがづくりのための情報提供と相談支援 ◆交流の場の提供などのしくみづくり ◆就労を通じた生きがいがづくり
	施策の目標【8】		高齢者が地域の中で生きがいをもって暮らせるまちをめざします。
留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇西東京市の高齢化率は、平成29年6月1日現在で、23.6%、平成35年には30.3%に達すると推計されています。 ◇平成27年4月の介護保険制度の改正を踏まえ、平成30年度からの高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第7期)では、団塊の世代が後期高齢者に移行する平成37年の高齢社会の姿を念頭に、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現に向けた長期的な視点に立った施策を策定しました。 ◇また、一億総活躍社会の実現に向けた国の動向とともに、計画策定のためのアンケート調査では、高齢者の社会参加の促進に役立つような「生きがいがづくり」の充実を求められています。			
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】
	1	高齢者の社会参加や就労への支援を推進します	高齢者の社会参加や就労への支援の推進

【施策の成果】

			年度	24	25	26	27	28	29	
成果指標【12】	指標1	名称	「団塊の世代や高齢者の生きがいがづくりの充実」に対する満足度	目標値	20%			単位	%	
		算出式・説明	高齢者数が年々増加するなかで、市が行っている「団塊の世代や高齢者の生きがいがづくりの充実」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	13.8	13.8	13.8	13.9	13.9	18.1
		達成率		69%	69%	69%	70%	70%	91%	
	指標2	名称	高齢者生きがい推進事業への参加者数(延べ人数)	目標値	48,000人			単位	人	
		算出式・説明	高齢期の生活を健全で明るく豊かなものとする上で高齢者生きがい推進事業の果たす役割は重要です。事業への参加者数を増やすことを目標とします。	実績値	44664	43476	45279	43573	55612	56000
		達成率		93%	91%	94%	91%	116%	117%	
	指標3	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
	指標4	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
達成率の平均値				81%	80%	82%	81%	93%	104%	

【市民意見】【13】

24年度		27年度		29年度	
満足度(%)	13.9%	満足度(%)	13.9%	満足度(%)	18.1%
満足度(平均ポイント)	-0.13	満足度(平均ポイント)	-0.08	満足度(平均ポイント)	0
重要度(%)	67.1%	重要度(%)	68.4%	重要度(%)	70.5%
重要度(平均ポイント)	0.88	重要度(平均ポイント)	0.92	重要度(平均ポイント)	1.08

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題	(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】	◇福祉会館、老人福祉センターについては、施設を活用し、身近な地域で誰もが生きがい作りに取り組めるようにして必要があります。 ◇高齢者の社会参加への支援策としては、平成28年4月から実施している「介護予防・日常生活支援総合事業」における訪問型B(サービスの担い手に、元気な高齢者も含めNPOなどの市民活動団体)の拡大が課題であります ◇平成28年度実施した高齢者保健福祉計画のアンケート調査によれば、生きがい分野では1番は買い物にでかけること、次に家族・親族とのふれあい、旅行すること、スポーツなどが続きます。また、前回の調査でも20.2%の高齢者が働くことと回答しており、今回も現在働いている人が26.5%で、今後働きたい方は20.3%となっており高齢者の雇用については、高齢者の豊富な知識や経験を活かせる就労の場の確保のため、シルバー人材センターや協定を結んでいるセブンイレブンとの連携を進め、雇用情報の提供、相談対応を行なっていきます。今の課題としては、引き続き就労支援を踏まえたニーズへの対策をしていく必要があります。		
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている <input type="checkbox"/> 以前と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針	(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】	◇福祉会館、老人福祉センターを活用し、身近な地域で誰もが、生きがい、健康づくり、介護予防に取り組めるように支援してきており、さらに運動器具の導入拡大等をしていきます。 ◇高齢者の社会参加への支援策として、平成28年4月から実施している「介護予防・日常生活支援総合事業」における、訪問型サービスB(サービスの担い手に、元気な高齢者も含めNPOなどの市民活動団体)への取り組み強化や介護支援ボランティアポイント制度の見直しも含め、元気な高齢者の方が家事援助を行い、高齢者を支える仕組みの充実を図ります。 ◇これまで市が行ってきた、高齢者いきいきミニデイ事業や通所型サービスB(住民主体のボランティアによる無料のサロン活動)として身近な地域資源を活用し、高齢者が気軽に通い、集える場所を整備していきます。 ◇就労支援については、セブンイレブンとの成果を検証しながら、他の就労先の発掘にも拡大していきます。		
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】	Ⅱ	成果の向上を図りつつ、コストは現状を維持する施策領域	

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化
	判断理由等【24】	高齢者の生きがいがづくりの充実については、健康づくりや介護予防及び就労、他世代や地域との交流などに対する支援等に取り組んできました。市民意識調査結果では、前回調査と比べ、満足度・重要度ともに大きな変化は見られませんが、施策成果の目標はほぼ達成しています。今後は、財政支援団体の見直しなど、実施コストの抑制に努めつつ、介護ボランティアポイント制度の検証や、シルバー人材センター、セブンイレブン・ジャパンと連携した就労機会の確保による、高齢者の社会参加の支援など、施策内容の拡充に努めるべきと判断しました。
施策実施方針【22】	Ⅲ	成果の向上を図りつつ、コストを抑制する施策領域

【施策内の事務事業貢献度判定】

笑2-2 高齢者の生きがいつくりの充実

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	シルバー人材センターへの支援	生活福祉課	高齢者の雇用の安定等に関する法律（昭和46年5月25日法律第68号）に基づき、市が必要最低限の支援を行うことにより、当該法人の健全な運営を支え、高齢者が組織的に働ける場を確保するとともに、高齢者の健康維持、生きがいを育める環境をつくっていきます。
	高齢者のいきがいつくり事業の充実	高齢者支援課	高齢者が、元気で活動的な生活を送り、生きがいを持ち充実した高齢期を過ごすことができるよう、社会参加への支援、介護予防につながる身近な地域での自主的な活動が継続できるように支援するなど、生きがい・健康づくり、介護予防を推進します。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】	事務事業の評価(直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】
	事業費	人件費			
47,891	47,060	831	抜本的見直し(平成25年度)	中	豊かな経験を活かして働くことにより地域社会の一員として、健康や趣味を活かすため等、生きがいを見いだす新しい生活環境を高年齢者と作り上げていく事を目指しています。
69,146	67,484	1,662	改善・見直し(平成25年度)	中	福祉会館の老朽・耐震対応を図り、社会参加の場として安心して利用できるようにすることで、社会参加が促進されます。
117,037	114,544	2,493			